

2024(R6)年度

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	小金井市児童発達支援センターきらり（保育所等訪問支援）			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日		～	2025年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	2
○従業者評価実施期間	2025年 1月 8日		～	2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○訪問先施設評価実施期間	2025年 1月 20日		～	2025年 2月 10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3	(回答数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別場面での対応だけでなく、集団場面での療育を経験している職員が訪問支援員として配置されている。	集団場面の中で継続的に実施できる目標や支援内容となるよう、ポイントを絞る。	ご家庭でも取り入れられる支援内容は保護者へ提案する。
2	支援内容を訪問先と保護者双方へ丁寧に報告し、共有している。	支援の記録を保護者を通して訪問先へお渡しいただくことで、話題を共有しやすいよう配慮している。	端的にわかりやすい記録となっているか、書式等の変更の必要性があるか検討する。
3	センターとして、他の事業（相談、親子通園、外来訓練、通園、放課後等デイサービス、研修・学習会等）を実施しており、他の事業からのニーズの把握や、他の事業の案内等がしやすい。	支援の様子のほか、今後の必要な支援について保護者と話し合っていく。	必要に応じて、センター内の専門相談等にて発達全体について相談する機会を提案する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間の情報共有は紙面の記録に加えて、口頭での報告・共有が多い。	確実なやりとりとはなるが、時間がかかるという課題がある。	効率的なシステム等、検討してみる。
2	訪問やフィードバック（訪問先、保護者）を丁寧にやっているが、1回の支援に必要な時間が多い。	集団での様子を見るだけでなく、具体的な支援を共有し、訪問先の実践につなげていくには必要な時間ではある。	訪問時間をポイントを絞った設定にする、フィードバックの時間を短時間となるよう進め方の工夫をする等、検討する。
3			

2024(R6)年度

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 小金井市児童発達支援センターきらり

公表日 2025 (R7) 年2月28日

保育所法訪問支援

利用児童数 3人

回収数 2人

		チェック項目	はい	どちら ともい えない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。				2	・教材教具を見たことがない。	・支援に必要な教材等を準備している場合には、具体的にご説明いたします。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	2					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	2					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1	1				・支援の頻度については、お子さんの様子に合わせて支援計画作成前の面談や契約時にお話しています。具体的な支援時間については、訪問先のご意向も伺いながら調整しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。		1		1	・職員さんの職種についてまで聞いたことがない。 ・相談支援事業所としてサービス事業者、関係機関、社会資源とのマッチングやコーディネート部分が手薄に思う。	・職種については名札に記すとともに、支援計画や記録に記載しております。 ・必要に応じて関係機関と連携してまいります。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	1			1	・担当の先生の意向が盛り込まれているかどうかは直接確認したことがない。	・訪問先の先生方からの情報も踏まえて計画を作成しています。日々の様子を共有し、支援に生かしています。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	2					
保 護	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。			1	1	・ペアトレに関して情報提供された記憶がない。	・ペアレントトレーニングについては、対象年齢の方にご案内しています。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	2					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					

者 へ の 説 明 等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	1				・センターとして、担当者以外にも必要に応じて心理士等の専門職による専門相談をご案内しています。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	2					
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	2					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	2				・とてもいいねなご対応をいただいている。	
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。				2		・定期的なお便り等の発信はありませんが、市民向け講演会、学習会等のお知らせをお渡しするようにいたします。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1			1	・非常時の対応について聞いた記憶はない。	・これまで、マニュアル等は特に示していないため、必要な内容をお伝えしていきます。
満 足 度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1			1	・非常時の対応について聞いた記憶はない。	・これまで、マニュアル等は特に示していないため、必要な内容をお伝えしていきます。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1		1			
	28	事業所の支援に満足していますか。	2				・いつもありがとうございます。子供の園での様子がよくわかります。	・保護者の皆様にもご協力いただきながら支援してまいります。

2024(R6)年度

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 2025 (R7) 年2月28日

小金井市児童発達支援センターきらり

利用児童数 3

回収数 3

保育所等訪問支援

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3			・日常生活動作の支援、集団生活への適応や職員への支援方法の助言が取り入れやすいものであった。 ・具体的な子どもの姿をあげ、必要なアイテムなどの紹介もしていただき、とてもわかりやすく活用しやすい助言でした。	・集団の中での目標や支援の手順について、より具体的に提案できるよう努めてまいります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3			・専門性の高い支援計画に基づき、子どもを尊重し、保護者や園の中立となり支援してくださいました。 ・大変学習を重ねている方で知識も技術も豊かで学ぶものが沢山ありました。	・専門性を高めるための学びを深め、センターとしての機能を活かしながら取り組んでまいります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2	1		・適切にご回答くださり、普段の保育で職員がうけた支援をもとに自律して子どもに関わられた。 ・カンファレンスの時に職員から出た困り感に回答していただき解決することができました。	・支援やカンファレンスの時間を有効に使い、先生方からの質問にも十分にお答えできるよう工夫してまいります。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2	1		・カンファレンスにてフィードバックしたことで、課題解決がすすみ、子どもへの関わり方に光がみえ進められた。 ・関わり方などアドバイスをいただくことでうまくいくこともあれば、やはり難しいこともあり解決に結びつかないこともあるので難しいなと感じることもあります。 ・課題についてともに考え合うことで適切な支援を行うことが出来ました。	・課題に対する取り組みに積み重ねが必要なのか、方針を見直した方が良いのかなど、具体的な検討を大切にしていきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	2	1		・職員にとって専門性が向上できた。質の高い支援と子どもに愛を向けてくれて感謝で一杯である。 ・訪問での支援内容や家庭との報告やその内容をお聞きできることはありがたいことだと思いますが、保護者様支援に課題を感じることもあり誰のための支援か悩むこともありました。 ・保護者の気づきへのフォローもあり、私たちもたくさん学ばせていただきました。	・お子さんとご家族、訪問先の先生方、それぞれの皆さんの課題について支援していきます。すぐに変化が得られない場合でも、状況の共有を大切にしていきます。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
・毎月訪問支援の日が楽しみでした。具体的な支援を助言いただき、子どもをより理解でき、もっとわかりたいと思えました。 ・隔週の支援はありがたいですが、フィードバックの時間を作ることが体制上難しい日がありました。また、その内容の記録と周知を考えると、月1回やフィードバックを2回分まとめるなどでもよいと感じました。 ・とても丁寧にお話し、対応してくださり、職員も励みになったと思います。 ・ご家族の子どもさんの受け止めや対応も変化してきたと感じます。 ・お子さんへの支援としても、職員が対応を学ぶという点でも大変有意義でした。					・訪問頻度やフィードバック、カンファレンスの仕方は各園のご都合も伺いながら調整していきたいと考えております。 ・先生方と具体的な支援について話し合う中で、きらりの職員もたくさんの気づきがあります。お忙しい中、先生方にご協力いただいております。ありがとうございます。	

2024(R6)年度

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 小金井市児童発達支援センターきらり

公表日 2025（R7）年2月28日

保育所等訪問支援

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	100%	0%		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%		・職員配置に限りがある中ではあるが、利用希望者の状況に応じた検討が必要である。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・利用開始時や計画見直し時の面談、訪問後の報告等で丁寧に聞き取っている。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		・定期的な機会を設けられるとよい。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	33%	・センター（障害児多機能型事業所：児童発達支援、放課後等デイサービス）として第三者評価を受審している。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100%	0%		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%	0%	・訪問先との連絡、振り返りを支援の都度実施している。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・計画どおりが難しいこともあるが概ねできている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・必要に応じてセンター内の相談事業にて専門相談や評価を行う場合がある。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	必要に応じてセンター内の相談担当、管理者と情報共有している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	必要に応じてセンター内の相談担当、管理者と情報共有している。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100%	0%		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	100%	0%		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%	0%		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%	0%		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%		
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%	0%		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	100%	0%		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
訪問先施設への説明等	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%	0%	・必要に応じて、センターの他の機能をお伝えしている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	100%	0%		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%	0%		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・訪問報告等、文書を郵送する際には間違いのないよう、ダブルチェックを行っている。	

非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%	0%		
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	33%	67%		・保護者がセンターに来所する機会は少ない。マニュアルについては特に示していないため、今後の課題である。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	67%	33%		・安全に関する職員研修は行っているが、安全計画として整理できるとよい。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%		

2024(R6)年度

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	小金井市児童発達支援センターきらり（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 16日		～	2025年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2025年 1月 8日		～	2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者との情報共有を大切にしている。	・保護者が送迎を行うことで、日頃から情報を共有しやすくなっている。定期的な面談も対面で行うための時間と場所を確保し、話題を整理しながら実施している。	・保護者とのお話の中から相談ニーズを把握し、面談の設定や専門相談の案内、情報提供などを更に丁寧に行っていく。
2	・センター内で相談や親子通園、外来訓練等に従事している専門職があり、専門相談等への案内が可能である。	・専門相談への案内の他、職員間でも他職種に意見を聞き、支援に生かす工夫をしている。	他職種の職員と実際の支援場面を共有した上でのケース会議を実施するなど、様々な意見を取り入れていく。
3	・様々なタイプの個性や特性を持つお子さんが通ってきている。	・活動内容の設定や個々に合わせたステップの踏み方、提供方法を工夫している。	・さらに個々に合わせた目標設定や支援手順の設定を丁寧に行い、職員間で共有する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流機会として、かねてより希望のあった「座談会」を今年度初めて実施したが参加者が少なかった、	・初めての試みであり、保護者のイメージがわきにくかったかもしれない。 ・周知から当日までの期間がもう少し長い方が日程調整がしやすかった可能性がある。	・周知時期を早め、関心のある保護者には説明をするなど、工夫する。
2	・放課後等デイサービス等、他の事業所の様子を知る機会が少ない。	・学校は公開等の機会を活用しているが、他の事業所への見学は依頼することが少ない。	・まずは地域の事業所から見学等の機会を作り、取り組みの参考にしていく。
3	・センター機能として企画している研修等の内容を学ぶ機会が多いが、放課後等デイサービスとしての独自の研修機会が少ない。	・日々の打ち合わせに時間を要し、年度途中からの計画は立てにくい。	・年間でテーマや実施方法、日時を決めて計画的に実施する。

2024(R6)年度

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 小金井市児童発達支援センターきらり

公表日 2025 (R7) 年2月28日

放課後等デイサービス

利用児童数 50人

回収数 14人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されている と思いますか。	13	1				・指定基準以上の広さではありますが、 部屋数は限られています。廊下も活用し ながら過ごしやすいとしています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13			1	・放デイの職員数がわからないが問題は ないと思います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環 境になっていると思いますか。また、事業所の設備 等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝 達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1				・環境設定を工夫しながら取り組んでま ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっ ていると思いますか。また、こども達の活動に合わ せた空間となっていると思いますか。	14					
適切 な支 援の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思いま すか。	14					・引き続き、ご家庭と連携しながら、お 子さんに合った専門的な支援を行ってま いります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の 提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニ ーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デ イサービス計画（個別支援計画）が作成されている と思いますか。	14					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイベ ルサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供 すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移 行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な 項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内 容が設定されていると思いますか。	14					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われ ていると思いますか。	14					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫 されていると思いますか。	12	1		1		・生活の流れは分かりやすい枠付けを設 け、活動プログラムは季節に合った行事 等を取り入れながら、様々な課題を行っ ています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の こどもと活動する機会がありますか。	3	3	5	3		・地域の資源を活用する行事等は取り入 れています。交流を目的とした取り組み は行っていません。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラ ム、利用者負担等について丁寧な説明がありました か。	14					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援 内容の説明がなされましたか。	14					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペア レント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修 会や情報提供の機会等が行われていますか。	13			1		・センターとして、ペアレントトレー ニングを含めた保護者学習会や市民向け講 演会などを実施しています。チラシ等 でお知らせしています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こども の健康や発達の状況について共通理解ができてい ると思いますか。	14				・気になることも相談させていただいて 共有できていると思います。	・保護者の皆様とのやりとりが大変役 立っております。引き続き、丁寧な共有 に努めます。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1				・定期的な面談のほか、送迎時にお話しています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1				・職員間での情報共有をしっかりと行い、ご家族の思いに寄り添った支援となるよう心がけていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	5	3	2	・コロナの影響かないイメージですが、確かにあってもいい気がします。	・今年度、はじめての「座談会」を実施しました。参加人数が少なかったため、次回は早めの周知等、工夫しながら取り組みます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1		1	・何かある度に相談や情報の共有をさせていただき大変助かっております。	・日常的な相談は放課後等デイサービスの担当職員が行っています。内容によってはセンターの専門相談をご案内することもあります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1			毎回フィードバックがあり分かりやすいです。	・連絡アプリも活用しながら、お子様の様子を共有していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	1				・毎月の『放課後だより』でお知らせしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	2				・引き続き、個人情報の取り扱いには注意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1		1		・災害時の対応等についてはお知らせしてお伝えしています。一部のマニュアルについては今後に周知します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13			1		・避難訓練を定期的実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			1	・今まで特に事故などありませんでした。	・状況の説明を十分行うよう、努めてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	1			・指折り数えていく日を楽しみにしています。 ・大好きで楽しみにしています。	・楽しい放課後の時間となるよう、内容を工夫しながら取り組んでまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14				・とてもよくしてもらっています。少しずつ成長できています。ありがとうございます。	・職員一同力を合わせ、また、ご家族と連携しながらお子様の成長を支えてまいります。

2024(R6)年度

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 小金井市児童発達支援センター きらり

公表日 2025 (R7) 年2月28日

放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	50%	・基準よりも多くの職員を配置している。	・職員の役割分担と臨機応変な対応について、職員間での打ち合わせをもとに、声かけやアイコンタクトなどで丁寧に連携していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	75%	25%	・分かりやすさを重視し、必要なもの以外は片付けておくなど、配慮している。	・限られたスペースではあるが、活動内容に合わせ、設定を工夫していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0%	100%	・完全に個別となるスペースを常に確保することは難しいが、廊下等のスペースも活用して対応している。	・課題ごとに部屋を分けるなどの工夫は継続して行う。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	75%	25%		・活動内容の設定や支援の方針については常勤職員が中心に検討しているが、検討には非常勤職員との振り返りの内容なども生かしていけるとよい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%		
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		・公表に向けて作成し、完成間近である。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	75%	25%	・非常勤職員が計画を確認する時間を設け、共有している。	・計画の理解を深めるため、非常勤職員を含めポイントを職員間で確認する機会があるとよい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・必要に応じてセンター内の専門職の相談・評価が可能である。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・書式変更を行い設定している。	

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・話し合いを丁寧に行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・同じ活動でも個に応じた配慮を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・毎回、非常勤職員を含めた振り返りを行っている。	・振り返りでの状況の共有を、支援での具体的な対応の検討に活かしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	75%	25%	・3か月後、4か月後、5か月後に支援計画を見直している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%		。「4つの基本活動」の観点と実際の支援内容との結びつきを整理していけるとよい、
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・自由遊びでおもちゃを選んだり、活動の中で選択する機会を設定したりしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・センター内の相談担当と情報を共有している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・必要に応じて行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	50%	50%	・長期休暇期間など調べて把握している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50%	50%	・センター内での相談や外来訓練などの情報を引継いでいる。	・必要な場合には他の機関の情報も得ていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	75%	25%	・対象を小学生としているため、成人期への移行に直結はしていないが、必要に応じて支援計画を活用する等、保護者に伝えている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	25%	75%	・センター内の他事業との連携を図り、必要に応じて情報を共有している。	・様々な視点を取り入れるため、センター内の他の事業の職員とのケース会議が実施できるとよい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%		・現在のところ、交流目的とした活動の予定はない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	・センター長が参画している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	・センターとして、ペアレントトレーニングを含む保護者学習会や市民向け講演会等を行っている。	・都度お知らせを配布・配架しているが、必要な方には声かけを行うなど、より一層周知に努める。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・利用開始前に説明会を実施している。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	75%	25%	・保護者には面談の機会を定期的に設けている。	・子ども向けのアンケートや面談なども検討する。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	75%	25%	・今年度、はじめて保護者座談会を実施したが参加者が少なかった。	・周知の時期を早めるなど、参加しやすいよう工夫する。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・ことばかけ以外にも視覚的な支援を行い、コミュニケーションの充実を図っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	75%	25%	・地域資源を活用した行事等を行っている。 ・市民向け講演会を実施している。	・活用できる地域資源を更に開拓する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	75%	25%	・避難訓練を定期的に実施している。	・内容によって周知が不足しているため、検討していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		・内容の見直しを定期的に行う。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	・利用開始前に書面により確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	75%	25%	・医師の指示書の提出は求めているが、おやつは保護者へ原材料を示し、確認をしている。	・保護者へ確認した記録を行う。食物アレルギーの対応をする場合は、医師の指示書の提出を求める。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		・不審者対応について、非常勤職員を含めて確認する。 ・安全計画という名称で整理できるとよい。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・内容を工夫しながら実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	75%	25%	・該当する場合には支援計画策定・見直し時に保護者と確認する予定である、	

2024(R6)年度

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	小金井市児童発達支援センターきらり（児童発達支援：通園）		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 25日 ～ 2025年 1月 16日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年 1月 8日 ～ 2025年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんやご家族について、職員間での情報共有がクラス内にとどまらず、通園全体で把握出来るよう努めている。	非常勤職員を含め、打ち合わせや振り返りの時間を毎日設けている。行事等で通園全体取り組みを行う中で、通園全体のお子さんの様子を知り、検討する機会がある。	情報共有だけでなく、非常勤職員を含め、意見を出し合う機会を作っていく。
2	通園などの定期的な利用は、センター内での相談を経てからの利用となるため、相談の過程やその後利用がある場合には親子通園・外来訓練等の情報を共有することができる。	引継ぎを丁寧に行っている。必要に応じて職員間での情報共有を行っている。定期的に心理士がクラスの様子を観察し、カンファレンスを行っている。	情報共有した内容を職員間で共有するにとどまらず、具体的な支援の方法に生かしていく。
3	センターとして保護者向け学習会や市民向け講演会、支援者研修等の学びの機会を多く提供している。	事業ごとに研修を企画することもあり、保護者の希望を踏まえながら内容を検討している。	家族支援として、通園の保護者向けの研修を更に充実させる。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お子さんについての理解や保護者への助言について、さらに充実させていく必要がある。	職員としてはお伝えしているつもりでも、しっかりと説明しきれていなかったり、保護者の考えや思いを十分にお聞きできていないことがあると思われる。	個々の職員の対応だけでなく、クラスや通園全体で保護者とやりとりしていく姿勢を再確認する。様子の報告のみにならないよう、コミュニケーションを大切にしていく。
2	センターとして館内で様々な事業を実施しているが、通園で利用できる場所は限られ、個別対応できるようなスペースを常設することは難しい。	指定基準上、他事業のためのスペースを使用することはできない。	現在も実施しているが、廊下や間仕切りを活用しながら、必要な環境整備を行う。
3	安全管理や虐待防止等の取り組みは、センターとして全体で取り組んでいるが、職員数が多いため、周知が困難なことがある。	非常勤職員も多く、また各々の業務に従事していると対面で確認する機会が少ない。	オンラインフォームの活用その他、年間で予め対面での実施を計画する、

2024(R6)年度

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 小金井市児童発達支援センター きらり

公表日 2025 (R7) 年2月28日

児童発達支援 (通園)

利用児童数 21人

回収数 10人

※未記入ため回答数の合計が10人とならない項目があります。

		チェック項目	はい	どちら ともい えない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されている と思いますか。	10				・限られたスペースの中で工夫されてい る。	限られたスペースですが、工夫しながら 活動の設定をしています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9		1		・多動の子が多いクラスはどうしても職 員が多動の子につくので他の子の支援が 足りなくなっている気がする。 ・子供が困った事があった時、すぐに聞 ける先生がいる。	職員は基準以上を配置していますが、見 守りや声かけ、手添えでの支援など、 個々のお子さんに合った必要な関わりを しっかりと積み重ねていくよう、職員間 の役割分担を行っています。お子さん が表情や動作を含めた様々な手段で思い を表現しやすくなるよう、職員との関係 作りを大切にしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環 境になっていると思いますか。また、事業所の設備 等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝 達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっ ていると思いますか。また、こども達の活動に合わ せた空間となっていると思いますか。	10				・整理整頓され、掃除が行き届いてい る。	引き続き、登園前・登園後の環境整備や 清掃を徹底します。
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思いま すか。	8	1		1	・一部理解されていない面がありまし た。 ・言葉（発語）なしの子に視覚支援（絵 カード・写真）をしてくれます。 ・特性に応じた支援は受けていると思う が専門性の内容が分からない。	園での様子のほか、ご家庭での様子を しっかりと伺い、お子様についての理解 を深めていきます。個々のお子さんに合 わせた支援や工夫のポイントについて、 ご家族へ具体的に、丁寧に説明してい きます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の 提供する支援内容と合っていると思いますか。	10					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニ ーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支 援計画（個別支援計画）が作成されていると思いま すか。	10				・困り事に対して細かく支援計画が作成 されている。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライン の「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支 援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容 からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、 その上で、具体的な支援内容が設定されていると思 いますか。	9	1				より分かりやすく、具体的な支援内容を 設定していきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	9	1			・個別学習の時間が少ないと思います。	集団活動と並行して個別学習を行って おります。回数を増やすことは難しい状況 ですが、内容を充実させて取り組んでま いります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫 されていると思いますか。	10				・散歩やサーキット、運動あそびが多い と思います。	身体を使った活動は、様々な発達の土台 となると考え取り入れています。リズム 遊びや制作活動、課題遊びなども行っ ていますが、より内容の幅を広げ、様々 な経験ができるよう工夫していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その 他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9		1		・もう少し機会が増えるとうれしいで す。 ・交流会が園の都合で中止になった場合 は別日に延期してほしい。	都合や感染症対策などにより中止とな った場合には、出来るだけ近い日程で保育 園と日程調整しておりますが日にちが取 れないこともありました。日程調整が円 滑に進むよう、更に配慮していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラ ム、利用者負担等について丁寧な説明がありました か。	10					

保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10				・オンラインでもっと勉強会を増やしてほしい。	センターとしての学習会を複数回行ってはあります。ひきつづき、オンラインも取り入れながら企画し、ご案内いたします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	8	2			・コドモン（連絡）になってから対面や電話が減り、状況が良く把握できていないと感じる。 ・先生によっては共通理解されていないように感じた。	コドモンで園の様子をお伝えするとともに、対面する機会でのやりとりや必要時の電話でのやりとりを行ってまいります。また、職員間での情報共有をしっかりと行い、お子さんやご家族への支援に活かしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	1			・担任の先生による。 ・助言が足りない時があり、困った事がある。	園での日々の様子をお伝えするだけでなく、ご家庭の様子をお聞きし、具体的な助言をしていくよう努めます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	1		1	・担任の先生による。	職員間での情報共有をしっかりと行い、ご家族の思いに寄り添ったやりとりとなるよう心がけていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1	2	2	・きょうだい児の支援はあまりされていないと感じる。 ・面談や懇談会などいつもと時間の違う日は前月の1日にきょうだいの預かり申請がいきます。1日目などは早めに時間が違うことを教えてほしかった。	保護者の皆様には、親子交流会や親子遠足、クラス懇談会などで交流の機会を設けています。行事ではありますが、プレイデーでごきょうだいの参加の機会を設けるなどの取り組みを行っています。面談や懇談会等の日程調整は出来る限り早めにご案内するよう努めます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	1				子どもとのやりとりには、ことばかけだけでなく、写真や絵、サインを用いたやりとりを行い、コミュニケーション支援を大切に取り組んでいきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9				・性善説でされています。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8			1		避難訓練は定期的に実施しています。災害時の対応等についてはお知らせでお伝えしています。一部のマニュアルについては今後に周知します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	1				状況の説明を十分行うよう、努めてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8					様々な経験をしながら楽しめるよう、支援内容を工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9					職員一同力を合わせ、また、ご家族と連携しながら、お子様の成長を支えてまいります。

2024(R6)年度

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 小金井市児童発達支援センター きらり

公表日 2025 (R7) 年2月28日

児童発達支援 (通園)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	89%	11%	・現状で工夫して支援している。	・個別学習のスペースがあるとなおよいと感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		職員の役割分担を工夫し、定員数に応じた基準よりも多い職員を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・他事業と共用するスペースもあるため、時間をやりくりしながら清掃を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	56%	44%	・間仕切りや廊下を活用している。 ・部屋数が少ないが、廊下やホール等でクールダウン等行っている。	・クールダウンなどに使えるスペースがあるとよい。 ・認められている環境ではあるが調整が困難なことがある。 ・部屋が不足し、廊下やトイレに移動することもある。完全に個別となるスペースを常に準備しておくことは構造上困難。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	89%	11%	・打ち合わせ、振り返り、クラス会議など共有する場は十分であると感じている。	・非常勤職員など参画していない職員もいる。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		行事等ではアンケートを実施し意向の把握に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	89%	11%	・各クラスで、非常勤職員を含めた振り返りの場を毎日設定している。クラス会議を行っている。	・非常勤職員は発信の場がない。 ・非常勤職員からも意見を出しやすい環境を検討する必要がある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%		第三者評価を毎年度受審し、外部の意見を取り入れるよう努めている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	89%	11%	・センター内で市民向け講演会や支援者研修、学習会などが多く企画され、研修資料の確認など情報は豊富である。	・非常勤職員の研修機会が少ない。 ・支援スキルについての研修が充実できるとよい。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	89%	11%		・公表に向け作成し、完成間近である。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・担当職員の意見を十分に反映しながら作成し、担当者会議（担当職員・児童発達支援管理責任者・管理者）にて検討している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・クラス会議などで非常勤職員とも共有している。 ・支援方法も職員間で共有し統一している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		・必要に応じてセンター内の専門職の相談・評価が可能である。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・今年度、通園の取り組みに合わせた書式変更を行い、必要な項目が設定されている。	・書式や項目に反映する内容について、適宜見直しが必要である。

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	89%	11%		・リーダー職員や常勤職員の意向で動いている傾向がある。チームとして意見をもっと出し、話し合う必要を感じている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		・集団活動を中心としながら、個別学習の機会を工夫して設定している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	89%	11%	・非常勤職員を含め、登園前に必ず打ち合わせを行っている。	・打ち合わせが足りない時がある。 ・打ち合わせや申し合わせが十分できているか、確認する習慣を作っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	89%	11%	・非常勤職員を含めた打合せや振り返りの時間を毎日設けている。 ・職員が発言しやすいよう、声をかけるなど配慮している。	・打ち合わせが足りない時がある。 ・意見を雰囲気づくりを心がける。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・センター内の相談担当と情報を共有している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		・センター内の相談担当とともに、必要に応じて連携を行っている。 ・転園などの移行時には引継ぎ、アフターフォローを行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		・必要に応じて保護者と相談している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		・保護者の同意のもと就学先へ引継ぎを依頼し、実施している。移行後はアフターフォローとして見学等で様子の把握に努め、必要時は相談等に応じている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	100%			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%		・自己啓発研修として、外部研修を選び、受講する機会を設けている。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%		・管理者や児童発達支援管理責任者、相談担当等が参画している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	100%		・隣接する保育園と自由遊びや課題遊び等を設定し、実施している。回数が少ないため少しずつ増やすようにしている。	・保育園との日程調整、回数確保が困難な場合があるが、引き続き調整していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			・連絡アプリの活用により、円滑に行われるようになった点も挙げられると同時に、細かいやりとりが不足する懸念もあるため、連絡アプリと直接のやりとりの利点を意識して取り組む必要がある。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		・センター機能として保護者学習会やペアレントトレーニング、市民向け講演会を実施し、案内している。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・保護者の意向を書面や面談等、複数の機会では把握するよう努めている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		・面談にて説明を行い、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・サービス提供記録のやりとりや電話などで相談に応じている。気になる様子があった時には丁寧に聞き取り相談に応じている。	・保護者の不安や困り感への気づきから相談・助言する支援について、職員間での共有や確認のもと、確実・適切に実施していく意識を高める。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%		・親子交流会やクラス懇談会を行っている。 ・直接的にきょうだい同士で交流する場合は設けていないが、行事等の交流の場できょうだい同士が対面、関わる場となっていることがある。 ・ブレイダーできょうだい種目を設定している。	・きょうだいの年齢にもよるが、行事の中でイベント設定することも検討してもよいかもしれない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		・毎月のおたより、ほけんだより、献立表内のメニュー紹介などにより、情報発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・引継ぎ等のため必要な時には、保護者へ同意書への記入をお願いしている。	・留意しているが、ダブルチェックの体制は徹底していきたい。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・ことは以外にも表情や動作、写真・絵の活用、ジェスチャー、サイン等のコミュニケーションを大切にしている。	・コミュニケーションスキルの獲得に向けた支援を継続的に行うよう、職員間の連携を確実にしていく。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	56%	44%	・散歩や行事でのお店の活用等により、地域との関わりを行っている。	・以前はあったが、コロナ以降見られない。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		・避難訓練は様々な場面を想定し、引き取り訓練等、保護者の協力も得ながら実施している。	・内容によって周知が不足しているため、検討していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%			・内容の見直しを定期的に行う。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		・利用開始前に書面により確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			・不審者対応訓練について、非常勤職員を含めた訓練を定期的に行うとよい。安全計画という名称で整理できるとよい。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		・保護者向けに災害時のマニュアルなどを配布して動きを周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			・同じようなヒヤリハットやインシデント等が発生しており、再発防止に向けた対策を都度具体的に検討する必要がある。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・内容を工夫しながら、全体の職員会議などで定期的の実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%		・必要に応じて支援計画策定・見直し時に別紙にて作成、保護者の同意を得ている。	